



AIR MAX / VISIBLE AIR UNIT
スニーカー進化論

初代エア マックスが登場したのは1987年。ティンカー・ハットフィールドが試みた、ミッドソールに窓を設けるチャレンジは機能だけでなく、ビジュアル面でも絶大な効果を発揮し、ナイキのアイコンテクノロジーへと成長させることに成功する。以来、エアの大容量化とビジブル部の拡大は、プロダクトの進化において重要なテーマであり続けたが、完成度の高い現代の360度ビジブルエアユニットを見る限り、その進化も限界点に達しているように感じてしまう。エア マックスの進化に先は無いのか。今回のスニーカー進化論では、エア マックスの未来に焦点を当て、検証する。

PHOTO: KAZUSHIGE TAKASHIMA